

## 第二期中期計画の見直し

第二期中期計画前半3年間の取組は、計画の達成に向け概ね順調に進捗しているが、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展やコロナ禍など、計画策定後における「大学を取り巻く社会環境の急激な変化」「大学として迅速に対応すべき課題の顕在化」等を踏まえ、令和6年度までの中期計画期間中に取り組む新たな課題の設定や到達目標の見直しを行う。

### 1 兵庫県立大学の見直し

#### 1 教育

##### ① ポストコロナを見据えた国際交流の新たなスキームの構築

オンラインによる交流・連携を充実させ、新たな国際交流のスキームの構築を取組方向として明記

##### ② 産業界や地域のニーズに応えるリカレント教育プログラムの開発と実施拠点整備

上記提言も踏まえたリカレント教育の強化と進行中のリカレント教育拠点整備を再整理

##### ③ 社会を牽引する次世代リーダーの育成強化に向けた次なる学部等改編の検討

工学部、環境人間学部の学科改編等を念頭に、次なる目標として明記

##### ④ 教養教育の充実に向けた教育プログラムの改編と新たな実施体制の構築

現在検討を進めている全学共通教育の充実に向けた見直しの具体的な取組方向として明記

##### ⑤ ポストコロナ（ニューノーマル）における新たな教育手法の確立（教育DX）

対面とオンラインのベストミックスを模索して全学展開する方向性を明記

##### ⑥ 理工系女子学生、外国人留学生、社会人学生の受入れ促進策の積極的展開

国の教育未来創造会議第1次提言も踏まえ、未来を支える人材育成の強化方向を明記

##### ⑦ 起業人材を育成する効果的な教育プログラムの確立と起業支援教育の積極的展開

学生の起業マインド育成、スタートアップ支援を積極的に展開する取組方向を目標として明記

#### 2 研究・社会貢献

##### ⑧ SDGsの具現化を目指した異分野融合による学際的・創造的研究の推進

SDGsの実現に研究面から積極的に関与していく意思を方針として明記

##### ⑨ 産学公連携による水素エネルギー利用や二次電池開発等GX・CN関連研究の推進

県や産業界が取り組む先端分野に積極的に連携協力すべく研究目標として明記

##### ⑩ 医産学看の連携を具現化する研究交流サロンの開設（先端医療工学研究所を拠点）

産学連携・研究推進機構と先端医療工学研究所が連携して進めている新たな取組を明記

### 2 芸術文化観光専門職大学の見直し

#### 1 教育

##### ⑪ 多言語教育の推進とグローバル人材の養成促進

英語以外の多言語教育の推進及び協定締結校との交流や新たな協定先の積極的開拓によるグローバル展開の促進を取組方向として明記

##### ⑫ 完成年度後に向けた教育研究体制の構築と大学院教育の必要性の検討

社会情勢の変化に応じた教育課程の見直し、完成年度後を見据えて独自性を高めたカリキュラムの編成や教員の配置及び大学院教育の必要性の検討を取組方向として明記

#### 2 研究・社会貢献

##### ⑬ 「芸術文化観光学」の構築に向けた研究のさらなる推進

「芸術文化観光学」を新たな学問分野として確立させるための具体的取組を明記

##### ⑭ ポストコロナを見据えた地域連携事業の新たな展開

2025年大阪・関西万博等の大型イベントを見据えた新たな地域連携事業モデルの構築に向けた取組を明記

### 3 管理運営の見直し

##### ⑮ 職員の法人独自職員への計画的置換え（プロパー化）等による事務局体制の強化

任用形態の多様化に係る重点的な取組目標として具体的に明記

##### ⑯ 教職員の多様な働き方の推進

コロナ禍を契機に実施した時差出勤や在宅勤務を制度化するなど多様な働き方の実現に向けた取組方向を明記

### 4 評価指標の見直し（兵庫県立大学分）

#### 新たな指標の設定

【教育】グローバル化や起業支援教育の推進に関する評価指標として、以下を新たに設定

- 英語で行われている講座数 R6年度 150講座（R3：132講座）
- 国際学会で発表した学生数 各年度 80人（R3：58人）
- 起業人材育成プログラムの受講者数各年度 40人（R3：25人）

【社会貢献】SDGsの達成に向けた取組に関する評価指標として、以下を新たに設定

- SDGsに係る全学的なフォーラム等の開催件数各年度 3件

【管理運営】ダイバーシティの推進に関する評価指標として、以下を新たに設定

- 女性教員の管理職割合 R6年度 25%（R4.4月：21.8%）
- 男性教職員の育児休業取得割合 R6年度 30%（R3：10.0%）